

令和3年度 北九州市立篠崎中学校

令和3年度 第2・3回

篠崎中学校運営協議会 資料

(第2回は緊急事態宣言により中止)

令和3年11月10日

視聴覚室

令和3年度 第2・3回篠崎中学校 学校運営協議会 レジメ

司会進行 仲野 (教務主任) 各種説明 花野 (教頭)

出席予定者 岡部康夫 鍛冶 孝 野瀬正信 十塚昭子

平川信乃 新屋陽一 永井美紀 室はつよ 青木哲也

オブザーバー 北九州市教育委員会 各学校 教頭 教務 等

指導講師 福岡教育大学 教職大学院 副学長 森 保之 様

司会《仲野》

1 会長挨拶 3分

2 学校長挨拶 (青木校長) 3分

司会《岡部会長》

3 【審議】 流れ: 学校等説明 → 質疑 → 意見交換 → 承認

【審議事項1】

- ・今年の取り組みについて 説明 青木・花野 7分
- ・地域学校協働活動推進員から 説明 室 5分

【審議事項2】7分

- ・来年度の方向性 1 《前後期制 2学期制の継続に関して》

【審議事項3】7分

- ・来年度の方向性 2 《中学校区一体化した学校運営協議会の設置・小中一貫校 (施設分離型) へ》

【審議事項4】7分

その他 ・各委員の皆さんから

審議終了

司会《仲野》

4 指導講話 25分

福岡教育大学 教職大学院 副学長 森 保之 様

- ・本日の議論を見たご感想及び今後の方向性に関するご助言

5 その他連絡

配布資料

- ・レジメ ・本日資料 ・本年度の取り組み 関係資料 ・今後のスケジュール ・委員名簿

令和3年度 北九州市立篠崎中学校 学校運営協議会 委員名簿 及び 第2・3回出席者

所属（選出母体）	役職	氏名	備考
北九州市立篠崎中学校 父母教師会	会 長	岡部 康夫	
北九州市立清水小学校	校 長	鍛冶 孝	
清水まちづくり協議会	青少年育成部会	野瀬 正信	
清水市民センター	館 長	十塚 昭子	
北九州市立泉台小学校	校 長	平川 信乃	
泉台まちづくり協議会	青少年育成部会	新屋 陽一	
北九州市立泉台市民センター	館 長	永井 美紀	
地域学校協働活動推進員	推進員	室 はつよ	
北九州市立篠崎中学校	校 長	青木 哲也	
北九州市立篠崎中学校	教 頭	花野栄美子	
北九州市立篠崎中学校	教務主任	仲野 浩二	
オブザーバー			
福岡教育大学教職大学院	副学長	森 保之	指導講師
北九州市教育委員会 指導部 学校経営・教育指導課	指導主事	阿部 一郎 松村 央子	
各学校関係者	教頭先生他		

今後の予定（学校運営協議会の1年の流れ）

令和3年度 篠崎中学校学校運営協議会の開催予定

時期	主な学校行事	学校運営協議会	(内容)
4月	始業式 入学式	第1回学校運営協議会	新構成員による新年度方針確認
5月	学力学習状況調査 修学旅行		
6月	定期考査 前①	第1回学校運営協議会 6月 第2 月曜日 7日	
7月	夏季休業日 7/21～		前期学校評価
8月	前期後半 8/25～		学校評価とりまとめ
9月	修学旅行(延期日程) 9月27, 28, 29日 定期考査 前②	第2回学校運営協議会 9月 第2 木曜日 9日 <u>中止</u>	前期の振り返り 後期の取り組み 人材について
10月	スポーツフェスタ 10/8 修学旅行(再延期日程) 10月 11・12日 ・前期 10月 15日 ・後期 10月 18日 保護者面談		
11月	定期考査 後① カルチャーフェスタ11月 4, 5日	第3回学校運営協議会 11月 第2 水曜日 10日	学校評価項目について 後期の取り組みについて
12月	面談 3年		後期学校評価
1月	私立入試		
2月	定期考査 後② 面談 1, 2年	第4回学校運営協議会 2月 第2 木曜日 10日	後期学校評価のまとめ 新年度の学校の方向性承認
3月	公立入試 卒業式 終業式		

令和3年度の主な取り組み（変更点）

取り組もうと している項目	内容の説明	コロナの影響で変更した内容	目指した意図やねらい、今後
前期後期制	・10月第2週を境に前後期を入れ替える。	・修学旅行の秋延期で、学校行事の日程が圧迫 ・継続 ・緊急事態宣言の解除と共に手指消毒のみに	・秋の行事集中を避け、年間に分散を ・懇談会の時期の検討（夏休み前） ・状況により対応する。健康安全の行動啓発もあり、積極的に対応する。
朝の検温・消毒	・昨年に続き、朝の全員検温と消毒は継続 習慣化と啓発のため → 学年主任等が全校生徒の顔を見える機会 ・水曜日に裁量（時数補充や会議、研修） 先生の資質向上のための時間や小学校との連携に		・様々な可能性を検討し、生徒と向き合う時間や教師の資質向上のための時間を生み出す。 ・他のクラス、学年の道徳を見ることによつて、授業改善につなげる ・継続し、文章を読み、理解する力を高める。
週時程	・教科の時間割のように、時間割の中にバラして配置 他の先生の参観が可能、時間割の調整が可能 ・朝自習から朝読書へ変更 本に親しむ、文章を読み取る力を高める。		・読解力、理解力は、重要であると考えるので継続させたい
道徳の時間の分散	・全員、読書カード（北九州市の貸し出し）取得へ 読書通帳の作成や表彰の取り組み 地の利を生かして、図書館の活用へ	・夏休み前に手続き完了	
朝読書導入	・読書週間に本紹介、読書記録を取るなどの取組 ・20分程度の時間を生みだし、1日の終業時に消毒や清掃活動をできる時間を生みだす。 ・1校時を10分繰上げ、8時45分1校時開始		・継続させたい ・45分で有効な授業ができ、時間が生み出されるのであれば、生かしていきたい。 ・継続させたい
読書の取組	・月曜の朝のみ、学年主任にだけによる連絡確認 各先生は教室生徒と読書など生徒と向き合う時間増を目指す ・市が提供する学校給食は、基本的に食べるような形で教育課程を編成する。（4校時 → 給食） ・定期考査後も給食を提供 ・給食時間を延ばし、しっかりと食べ、残食を減らす取り組み（5分延長）+ 昼休みの5分延長	・木曜日の放課後 終礼の実施（コロナ対応や伝達事項を） ・時間の変更、45分に合わせた形で	・生徒と向き合う時間を増やしたい。 ・継続させたい
職員朝礼 会議の削減	・クラス半分程度の当番清掃へ 密を減らし、早い下校、早い部活の準備 ・生み出された時間で、練習時間の確保 平日2時間は確保 ・保護者の送迎、練習試合等の参観（制限付き）		・食育や家庭の負担を減らすため ・継続させたい
学校給食			・残食を減らし、食品ロスや季節の問題などを考える機会にして、SDGsを考えさせたい。 ・効率的な掃除を進め、継続させたい。
給食時間の変更			・市の基準に沿った範囲内で、適正な部活動の在り方を探っていく。
清掃			
部活動		緊急事態宣言中のため、更に時間短縮を（ギリギリ2時間） 保護者は入場制限、無観衆	

服装・衣替え	<ul style="list-style-type: none"> ・標準服とスタンダードタイプ衣替え移行期間を長期にとり、個人の暑さ寒さに対応猛暑期間の体感服対応、防寒具の早期連絡 ・中着や靴下の白のきまりを、購入しやすい白黒紺茶灰などの一般的なものとし、派手なものは控えるとした。 ・規則から身だしなみマナーへ ・スタンダードタイプの示し方の変更(ジエンダーの視点) 		<ul style="list-style-type: none"> ・現状に合った対応を継続していく。
服装の考え	<ul style="list-style-type: none"> ・重いカバン、容量の大きなカバン、スタンダードタイプに合うカバンへの対応として、リュック型のカバン導入へ(現行のものと同様に生徒が選べる形に) ・来年度入学生から対応準備(在校生も可) 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会やPTA理事会等で検討をする段階を挿入する。 ・継続検討
通学カバンの複数化	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンダードタイプ ・重いカバン、容量の大きなカバン、スタンダードタイプに合うカバンへの対応として、リュック型のカバン導入へ(現行のものと同様に生徒が選べる形に) ・来年度入学生から対応準備(在校生も可) 		<ul style="list-style-type: none"> ・導入決定 ・在校生、小学校新入生にも告知
定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査としては、年4回 各9教科を予定 ・基本はすべて9教科だが、定期考査をすかしはないかは、教科による。 ・必要な試験内容とし、点数、時間も教科による。(定期考査の無理な実施はしない。知識を問うだけのテストはやめる。定期考査中心で評定を出さない。) ・日ごろの授業や単元考査の充実と日ごろからの評価の徹底 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の学習評価を定期考査に、頼り過ぎない方向の日常の評価の方向を進める。 ・定期考査のみで、成績が出ていないことの理解をすすめる。 ・テストの順位で成績がつくわけではないので、相対評価と絶対評価の違いやテストの役割の理解の促進に努める。 ・学校でのテストは、順位は、度数分布の幅の中で示し、およその位置を知らせる。
学習評価・評定	<ul style="list-style-type: none"> ・3観点別の項目の到達度を図り、学習評価・評定へ ・前期評定 → 私立高校等の進学資料 ・後期1回目定期考査 → 公立高校等への評定等へ ・後期評定 → 学年末の評定へ 		<ul style="list-style-type: none"> ・観点別の3観点評価に変わったので、その評価基準を、生徒にも保護者に理解してもらえよう、説明を進める。
水泳授業	<ul style="list-style-type: none"> ・7月～9月までの長期間をかけて、実施予定 ・更衣室を武道場や視聴覚室など広げて 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針で、本年度も中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向け、プールの整備中(水漏れ等の課題)
儀式的行事	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式、終業式が各1回削減 ・生み出された時間を授業、教育相談や面談に時間を充てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面式など全校が集まる機会がでない。放送による集会、学年別による集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期後期の終業式・始業式も、集合型でしななつたので、都合10時間近くの授業時間確保
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の取り組みと学級の取り組みによる学校行事の検討(全体での練習や総合・学活等の時間削減) ・学校行事中心に組んだ「総合的な学習」から、探求学習へ、SDGsの取り組みや福祉、キャリア教育への転換 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人に来てもらうか。職場の訪問ができれば 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいものを作っていくとともに、よいものは、継続させたい

	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人による「夢授業」開催：(キャリア教育研究会の協力による) 職業人による協力25名を超える協力3年生で実施、後期後半に2年生を計画中 ・スポーツフェスタ、カルチャーフエスタの取り組みどちらも無観衆で実施 ・スポーツフェスタは午前中、4時間 ・カルチャーフエスタは、2つ日間、芸術劇場を借用して 		<ul style="list-style-type: none"> ・その他のキャリア教育と結びつけた体系的な学習の一つとしたい。 ・継続させたい。
生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒総会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観衆や来校者は、制限した日常の取り組みを中心にしたものに、(状況によって無観衆) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体のバランスを考えながら、実施方法を検討していく
修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・春実施の関西修学旅行を予定 ・関西修学旅行を中止して 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインにより代議員集会方式での生徒総会(オンライン中継を視聴する。) ・秋実施に延期 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による自治活動を活性化させた
自動販売機導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・冷水器等が使いづらいため(コロナの影響)、水やお茶の自販機導入検討、市への申請済み ・熱中症対策の一環として 		<ul style="list-style-type: none"> ・市の方向に沿いながら、安定した修学旅行になるように検討していく。 ・導入完了し、生徒も有効に活用している。
保護者参観	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の中では難しい可能性が大きい 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、検討していく ・学校開放週間では、平日のせい、多くの来訪はなかった。 ・緊急事態宣言後に活動開始
PTA活動	<ul style="list-style-type: none"> PTA便りの発行、PTA新聞の発行 緊急事態宣言解除後は、実施の方向で調整中 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くが集まるリスクを避けるため、未実施 ・父母教師会総会は、2年続き紙面開催 ・PTA活動は、役員決めで実質的な活動ができていない ・緊急事態宣言後に再度検討 	
地域学校協働活動	<ul style="list-style-type: none"> 花植えや門松づくり できれば小学校と共にできる部分があれば、(部分的に) 		<ul style="list-style-type: none"> 花植え等などの協力をいただいた。
地域行事	<ul style="list-style-type: none"> 市民センター行事に中学校教員の参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会への出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科教員による体操教室 ・校長による健康教室3回シリーズ